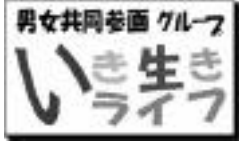


男女共同参画 社会づくり

みんなで取り組もう！

「男女共同参画」についてご存知ですか。堅苦しいイメージを持たれるかも知れませんが、簡単に言うと「男は仕事、女は家事・育児」のように、性別によって役割や行動・考え方が縛られることが無いようにしようとするものです。

性別にとらわれることなく、男女がともにその個性と能力を十分に発揮できる環境をつくりあげていかなければなりません。家庭や職場・地域社会など、普段の生活の中で男女共同参画について、少し気にとめながら暮らしてみましょ。



男女共同参画講演会を開催 仕事と生活の調和

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)とは、男性も女性もあらゆる世代の人々が「仕事をやる」「趣味を楽しむ」「勉強をする」などやりたいと思うことができ、「仕事」と「生活」のバランスが取れることでの好循環をめざすものです。仕事と生活、毎日の忙しさに忘れてしまいがちな心と身体のパランス。あなたの暮らしのあり方を一緒に考えてみませんか？

講師 中野則子さん(兵庫 県男女共同参画センター所長)
参加費 無料
主催 猪名川町・男女共同参画グループいきいきライフ
問い合わせは、企画財政課 (766・871)へ。

とき 9月2日(日)午前9時30分
ところ 社会福祉会館
参加資格 町内在住・在学者は参加できないことがあります



あじさいまつり を開催
とき 7月7日(土)・同8日(日) 午前10時~午後4時
ところ 大野アルプスランド(柏原地区)

主な催し内容
7日(土)午後1時30分~ イナウインズの演奏
8日(日)午後1時30分~ サウンドスケープの演奏
地域特産品の販売などの各種模擬店の出店
スタンプラリー、木工教室・竹細工や陶芸体験など
阪急バス柏原終点から無料送迎を行いますので利用ください。
問い合わせは、柏原生産森林組合(769-0515) 農林商工課(766-0001)へ。

参加者募集

第16回英語スピーチコンテストを開催

の中学生(長期海外生活体験者は参加できないことがあります)

部門 (中学生1・2・3年生の部) 暗誦大会(課題は申込受付時に配布) 高校生の部 弁論大会(5つのテーマの中から1つを選び、作文を発表) 詳細は募集要領を参照
その他 入賞者には、賞状および副賞を贈呈。高校生の部優勝および準優勝者は、副賞として来春オーストラリアバラット市へ2週間程度の派遣。(全員に参加賞あり)
申込み・問い合わせは、コミュニティ課、日生・六瀬住民センターに備え付けの申込用紙に必要事項を記入し、7月11日から同31日までに国際交流協会事務局(同課内)766・8783へ。

高校生部参加者は、発表内容の原稿(英文および日本語)を8月22日までに提出



はまもと 珠里ちゃん 1歳9カ月(白金)

お兄ちゃんがとっても大好き いつまでも兄妹仲良く、元気にすくすくと育ててね。 父 一志・母 恵理子さん



みうら 輝音くん 1歳6カ月(伏見台)

キラキラした笑顔に家族はいつも癒され、幸せな気分になってるよ。 父 純郎・母 さやかさん

はい！ポーズ

21世紀の主役たち 猪名川町いずみ会

真田町長が訪ねた



食の大切さについて語り合う、いずみ会の皆さんと真田町長

「私達の健康は私達の手で」を合い言葉に、保健センターを拠点に食生活の改善活動を行っている「猪名川町いずみ会」の皆さん。22年間、赤ちゃんから高齢者まで幅広い年齢層に関わりながら、各家庭で正しい食生活の実践がされるよう、地域の食のリーダーとして日々活動されています。

健康は正しい食生活から

町長 長年にわたり、町民の皆さんの健康と食を考えた、地道な啓発活動を行っていただき誠にありがとうございます。野菜をたくさん使ったおいしいそつな料理が並んでいますね。
会長 月に一度の定例会で、皆が集まって栄養バランスの良い料理を作ることで、まずは自分自身の食に対する意識を高めています。
栄養士 今回のメニューは、大豆やちりめんじゃこ、野菜や乳製品をしっかり使い、骨粗しょう症を予防するメニューになっています。町長 20年前と比べると、世の中の食生活も変わりましたね。

人権作文

人の心

最近、新聞やテレビでは毎日のように、自分で死を選んだ子どもたちのことについての報道がされています。未来にはさまざまな将来が宇宙のように広がっているのに、それを自分でたち切ってしまうなんて、相談する人がいなくなつたのかなと思います。死を選んだ人もかぎりない人生をあゆんでいきたかったと思うし、その人の親や兄弟はすつと悲しい人生をおくることになると思います。

私もおくめて現代の子どもたちは、たった一言で人の心に深い深いキズをおわせる力を持つています。深い深いキズをおわせる言葉はなぜ軽く言えるのか、私の体験をふまえて考えてみました。

私はその時、仲がともしい友達とジャレあつていました。最初の方は良かったのですが、後からそのジャレ合いがエスカレートして、私はその友達にすつこいことをしてしまつたんです。すると怒つた友達が、私にむかつて、「さわらないで。」と言いました。「さわらないで。」と言わせた理由を作つたのは私です。だけど、誰だつてこんな言葉を言われたら悲しいと思いません。私の場合、仲の良い友達だつたので余計悲しかつたんです。でも、その人は本当に心が優しい人でした。だから、私が悲しんでいると、「さつき、ごめんね。」と言

にきてくれました。うれしかつたし、安心しました。うれしかつた言葉は「じゃま。」こんな些細な言葉でも、きつづく人がいます。「ちょっとじゃまだからどいて。」まで言えはいいのに、つい言つてしまつた。このように、人の心をきつづけるのは、自分が相手にむけて言つた言葉を相手はどのように思うのかを考えずにいるから、平気で人がきつづくようなことを言つているのではないかと私は考えます。これは、国と国の間のことでもいえると思います。国の中心にいる人が「戦争をする。」という一言で、どれだけの人が死んでいくのでしょうか。たった一言で、何百万人も人が死ぬこともあるの

です。人が死なないようにするには、「戦争をする。」と言わなければいけません。戦争もいじめも、しようと思わなければおきないことです。みんな一人ひとり違う考えや感情を持つていて、その感情の種類で無視をしたりする人がいます。それは、自分が世界の中心で自分を中心に世界がまわつていて、思っているからだと思います。戦争やいじめも同じだと思います。いじめや戦争をなくすためには、おたがいに意見を言い合うこと、また、まわりにいる人や国が見て見ぬふりをするのではなく、異変に気づいたら、声をかけあつていくことが大事だと思います。

山村 果歩さん(猪名川小学校6年の時の作品)